

# パイロットになることが夢



2等空尉 岩瀬 大和 (いわせ やまと)

【現部隊】航空自衛隊 第2航空団 飛行群 第201飛行隊

【入隊日】平成24年3月入隊

【職務】操縦士

【出身校】札幌北高校

## ●学生時代の夢や思い出は？

昔からパイロットになることが夢でした。幼稚園の頃に千歳基地の航空祭で見た戦闘機に憧れ、この航空機を操縦してみたいという思いがありました。また、高校のグラウンドから見上げた時に見えた飛行する戦闘機の連なった2本の飛行機雲とわずかに聞こえるジェットエンジンの音に憧れたのは忘れられません。

## ●入隊した動機・経緯は？

昔から戦闘機を操縦することが夢でした。航空学生課程のことは知っていたものの具体的に行動したのは高校3年生になってからでした。学校の進路指導室にあった各課程の募集要項を読み札幌地本へ連絡をしました。その後は地本の方々の支援を受けながら受験に向けて様々な準備を行うことができました。航空学生の試験と並行して、航空自衛隊の操縦者への選択肢を広げるために一般幹部候補生の飛行要員や防衛大学校の試験に向けた大学受験の勉強も行いました。

## ●入隊してからの思い出や楽しかったことは？

入隊式を終えた瞬間から時間的にも体力的にも厳しい訓練と指導を受け、環境への適応と自身の限界の押し上げることを日々求められ大変だと感じました。しかし、部活動と同じように仲間と団結して切磋琢磨し、乗り越えた日々はかけがえのない思い出となりました。特に楽しかったのは北海道から初めて本州へ引っ越し、瀬戸内の温暖な気候環境で暮らすことができたことです。外泊が許可されたときは博多や萩、広島、神戸等、初めて見る土地を観光し、様々な美味しい食事や文化に触れることができました。

## ●自衛官生活の中で影響を受けた人や出来事は？

各課程で教わってきた教官達です。それぞれが全国各地で様々な経験を積み重ねてきており、その技術と経験を私に教えるために毎晩夜遅くまで熱心に指導していただきました。私も後輩の理解度や技量に応じてわからない部分を上手く引き出し、的確なアドバイスを与え、危険なことがあれば厳しく指導する、そのような先輩になりたいと感じました。

## ●現在の仕事内容は？

僚機操縦者（ウィングマン）として日々の飛行訓練において操縦技量の向上に努めています。また、日本の空を監視し、国籍不明機等に対して緊急発進するアラート勤務にも従事しています。



## ●航空学生の魅力は？

国内で唯一自衛隊の戦闘機や輸送機、ヘリコプターの操縦ができます！さらに高校を卒業してすぐ入隊し訓練に臨むことができるので、ほかの課程と比べ若くして飛行訓練を開始できます。加えて入隊してから短い期間で日本全国を転勤することができるので、様々な出会いや食文化に触れることができ、人生経験が豊かになったと感じます。



【訓練時機体へ向かう】

## ●航空学生になって成長できたと感じていることは？

乗り越えられない壁は無く、自身の限界は想像以上にはるか先にあると考えるようになりました。飛行訓練では多くの課題に直面しましたが様々な方法で同期生と協力して乗り越え、航空学生の訓練では体力的限界を感じても訓練を通じて記録を更新していくことができました。また、飛行隊の冬季サバイバル訓練では零下の千歳川でしばらく漂流する訓練を行いました。非常に寒く冷たい環境でも想像していた以上に生きていられることを知りました。

## ●将来に向けて努力していることやこれからの目標は？

現在は操縦技術と英語能力の向上に努めています。航空自衛隊は国内の訓練だけでなく様々な国と合同で訓練しています。主な言語は英語であり、日常の会話はもちろんのこと戦術的な会話も求められます。ときには質問だけでなく、自分自身の意見や方針、分析も求められるため、高校英語を土台としつつ総合的に英語力を伸ばしていかなければならないと感じております。

## ●これから航空学生を受験しようと考えている皆さんへ

航空自衛隊の航空機に興味がある、陸海空関係なく自衛隊に興味がある人はぜひ受けてください！3次試験では実際に航空機を操縦して行う適性検査がありますし、もし合格すれば他の課程とは異なり数年の内に日本全国を巡り様々な経験ができます。そして空からの景色は本当に美しく、どんなに天気が悪い日でも雲の上は晴れています。



【授業風景】



【外部点検】